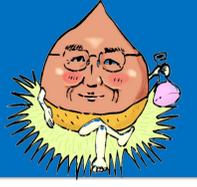


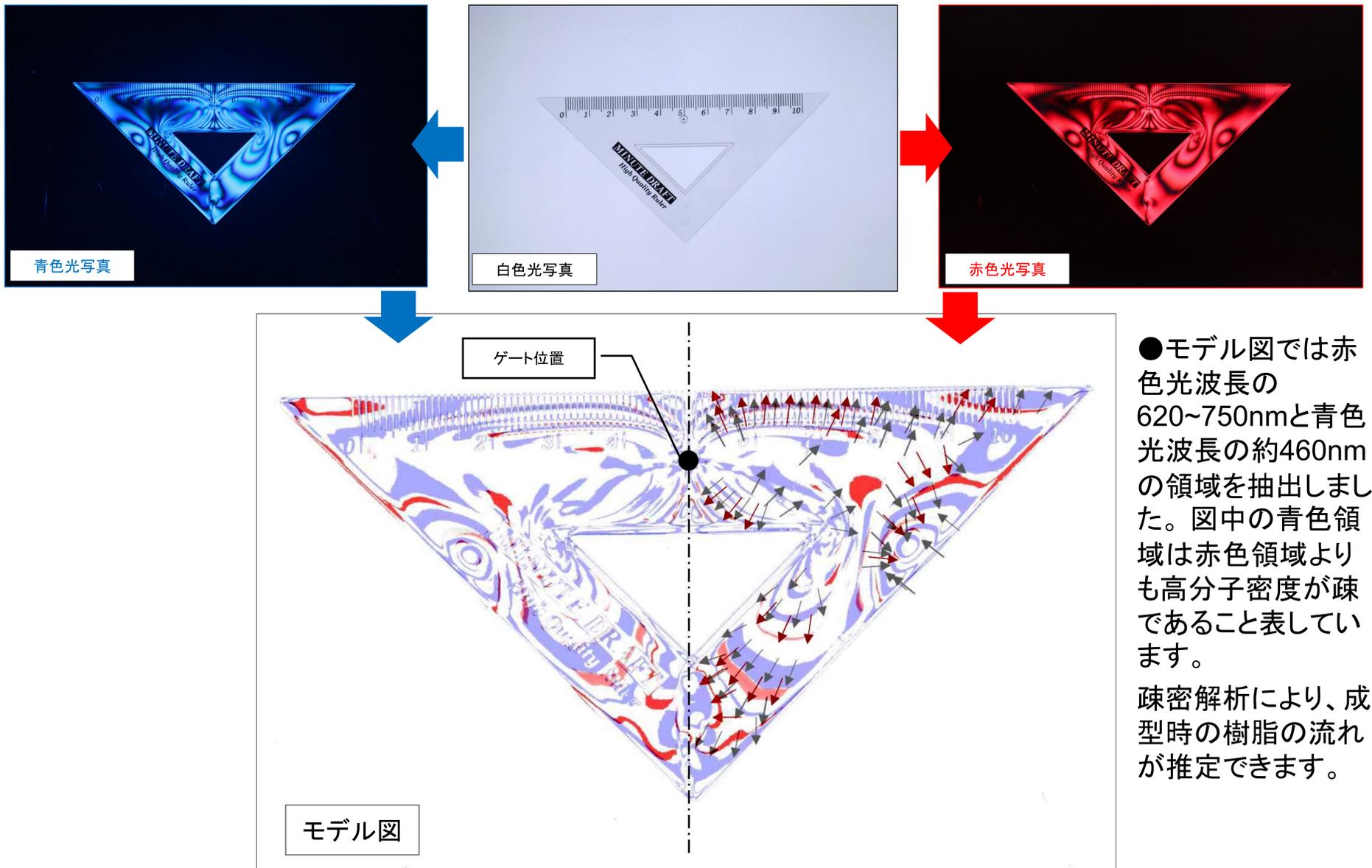
# 樹脂の流れ解析(複屈折法)



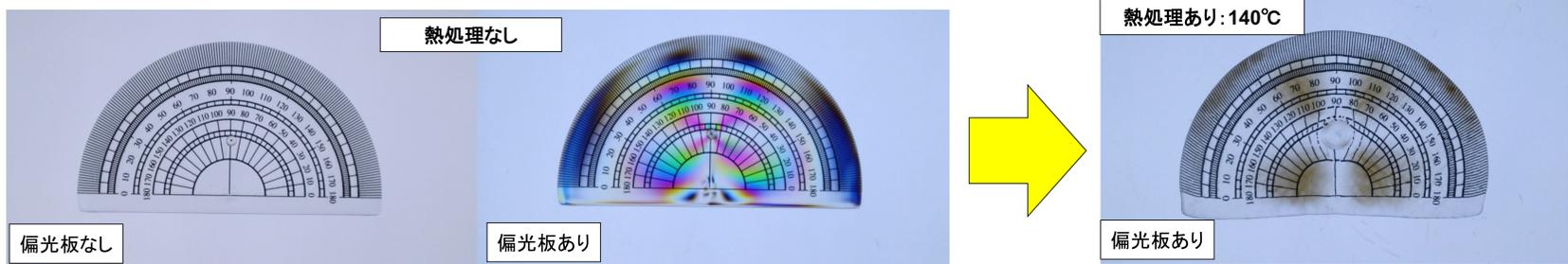
高分子成形品を射出成形法で作る場合、射出する高分子の流れ方が製品の状態を決めます。そのため、製品から流れを推定する手法は成形法の問題解決に役立ちます。

本観察手法は成形品における高分子の粗密分布が流れ情報を反映していることを前提に、その分布を可視化したものです。解析の結果、モデル図のような樹脂流れを可視化させることができました。

## ■流れの可視化



## ■内部ひずみ緩和



●熱処理を行うことで内部ひずみが緩和されると製品は壊れ難くなります。

(参考)複屈折観察

透明な樹脂材料などの内部ひずみを可視化する手法で透過光と偏光板を用います。

連絡先: 機器分析評価センター

(HP) <https://www.iac.ynu.ac.jp/>

(電話) 045-339-4406 (E-mail) [iac@ynu.ac.jp](mailto:iac@ynu.ac.jp)

